

栗山赤十字病院の改築について

栗山町長 佐々木 学

～ これまでの経緯 ～

<現状>

- ・ 建物の老朽化（昭和55年建築、築40年）。耐震化問題
- ・ 深刻な医師不足。医師確保が困難な状況

<検討経過>

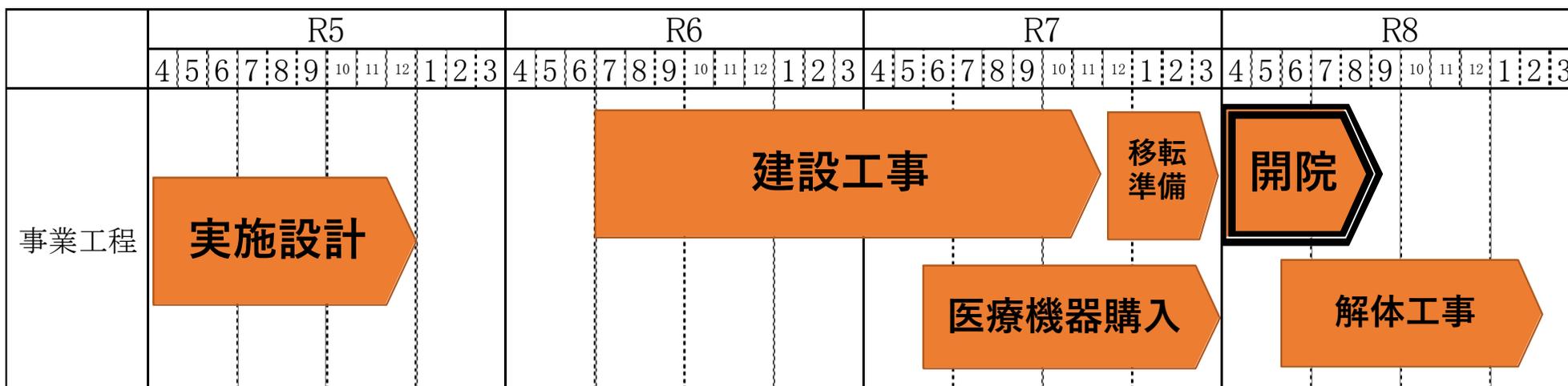
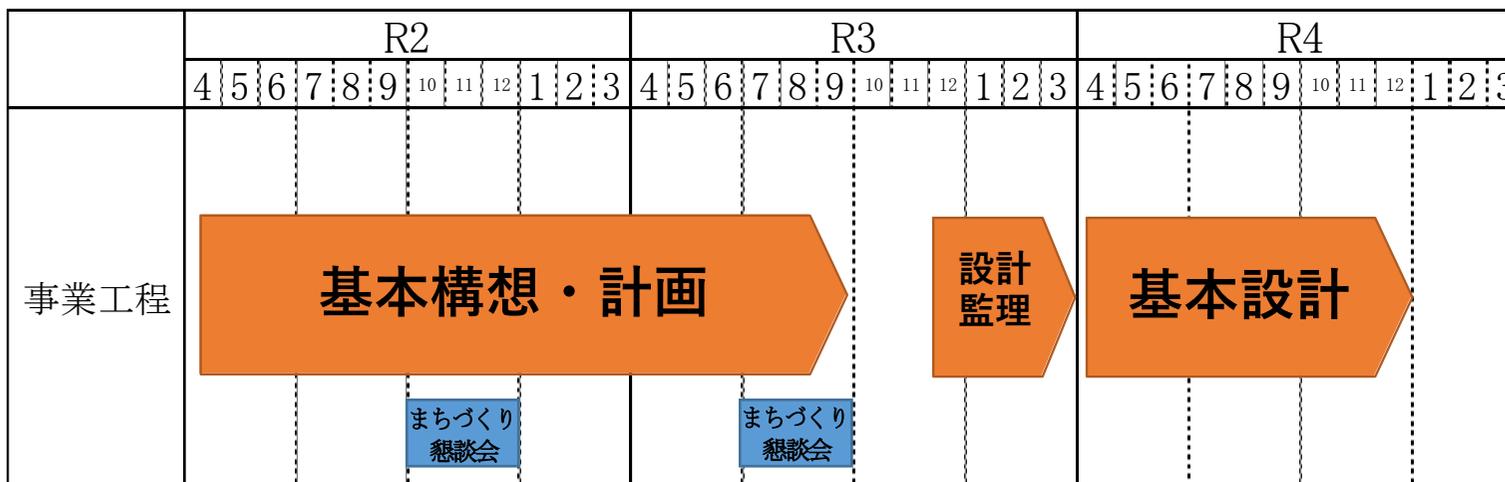
- ・ 平成22年～平成27年 「栗山赤十字病院あり方検討会」
- ・ 平成28年～平成30年 「栗山町の医療環境整備を検討する町民委員会」
- ・ 令和元年 「栗山赤十字病院改築等検討委員会」

<検討結果>

病院整備手法として

「栗山赤十字病院の改築・改修が1番望ましい」との報告

病院改築に向けた想定スケジュール



<病院整備方針策定項目①> 診療科

【方針案】 診療科は、現状維持（現状12科）を基本

栗山赤十字病院の診療体制

診療科	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内科	○	○	○	○	○	
外科		○	○	○		
整形外科	午前のみ	午前のみ	午前のみ		午前のみ	
精神科		○		○		
透析科	○	午前のみ	○	午前のみ	○	午前のみ
眼科					午前のみ	
耳鼻咽喉科 R2年4月から1日増		午後のみ		○	午前のみ	
皮膚科		○				
泌尿器科			○			
循環器科	午前のみ					
リハビリ科	○	○	○	○	○	
リウマチ科 R2年7月新設		午後のみ			午前のみ	

※○は午前・午後の1日診療

< 病院整備方針策定項目① > 診療科

近隣市町の診療科の状況

栗山赤十字病院	町立長沼病院	町立南幌病院	由仁町立診療所	夕張市立診療所	岩見沢市立総合病院
内科	内科	内科	内科		内科
外科			外科		外科
整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科
精神科	精神科				精神科
透析科 (23床)					透析科 (40床)
眼科	眼科	眼科			眼科
耳鼻咽喉科				耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科
皮膚科	皮膚科				皮膚科
泌尿器科					泌尿器科
循環器科	循環器科			循環器科	
リハビリ科	リハビリ科		リハビリ科		
リウマチ科					
		小児科			小児科
					産婦人科
					脳神経外科
	麻酔科・放射線科			総合診療科・ 歯科・婦人科	消化器科・麻酔科・ 放射線科

<病院整備方針策定項目②> 病床数

【方針案】 病床数は、100床程度（現状136床）で検討

・現在の病床稼働率（80%）や将来の医療需要推計による（91%）

近隣市町の病床数

栗山赤十字病院	町立長沼病院	町立南幌病院	由仁町立診療所	夕張市立診療所	岩見沢市立総合病院
136床 (一般96床 療養40床)	60床 (一般60床)	60床 (一般60床)	19床 (一般19床)	19床 (一般19床)	484床 (一般365床 精神115床 感染4床)

医療需要予測指数

※2015年を100として、将来の医療需要の割合を示したもの

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
全道平均	100%	104%	106%	105%	103%	100%	96%
岩見沢市	100%	99%	98%	94%	88%	82%	75%
夕張市	100%	85%	71%	58%	46%	37%	30%
栗山町 (医療需要推計による推計病床数)	100% (136床)	99% (135床)	96% (130床)	91% (124床)	84% (114床)	77% (105床)	70% (95床)
長沼町	100%	100%	100%	98%	93%	89%	81%
南幌町	100%	100%	101%	102%	99%	94%	84%
由仁町	100%	95%	89%	83%	74%	66%	59%
南空知医療圏平均	100%	97%	93%	88%	81%	74%	67%

※南空知医療圏：夕張市・岩見沢市・美唄市・三笠市・南幌町・由仁町・長沼町・栗山町・月形町

<病院整備方針策定項目③>

概算事業費及び費用負担

【方針案】 概算事業費は、45～50億円を想定
建設費用は、栗山赤十字病院が負担

【概算事業費内訳】

建設費	37億円	延べ面積7,200㎡ 建設単価469千円/㎡
医療機器	3億3千万円	CT、X線、MRIなど
解体費 外構工事等	7億7千万円	解体費6億円、外構工事等1億7千万円
合計	48億円	
財源内訳	1億円	北海道の地域医療介護総合確保基金（日赤へ交付）
	47億円	町からの補助金

【費用負担の考え方】 町からの補助金47億円（過疎対策事業債借入による）

過疎対策事業債借入による交付税措置（7割分）	一般財源（3割分）
32億9千万円	14億1千万円

※一般財源の14億1千万円は、建設後30年間にわたり栗山赤十字病院が負担

<病院整備方針策定項目④> 建設場所

【方針案】建設場所は、現地建替を基本

- ・交通の利便性、町づくりの観点、費用面を考慮して決定

※移転の場合、既存建物の解体費（6億円を想定）の財源確保が課題

病院建設場所に係る検討項目（案）

検討項目		検討項目内容	検討項目		検討項目内容
立地	敷地面積	病院敷地面積の確保（増改築や感染症対策に係るプレハブ設置を含む）について	周辺への影響	日照障害の影響	周辺に与える日照障害の影響について
	公共交通のアクセス	公共交通機関のアクセスについて		周辺住民への影響	救急搬送時の騒音など、周辺住民への影響について
	通院アクセス	徒歩・自転車による通院アクセスについて	工事中的影響	騒音の影響	建設工事等に係る騒音の影響について
	救急搬送のアクセス	救急車（自動車）によるアクセスについて		周辺住民への影響	工事の施工に伴う周辺住民への影響について
	騒音の影響	周辺の騒音の影響について		診療への影響	工事期間中における診療への影響について